

共通戦略1	革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進
-------	---------------------

施策1	商工会ならではの徹底的サポートによる事業承継と創業の推進
-----	------------------------------

1 令和7年度 施策の方向性
令和4年度の「商工会員事業所実態調査」では、会員の平均年齢63.9歳、後継者不在の割合77.4%となった。引き続き関係機関と連携しながら商工会ならではの支援で、世代交代を推進していく。また、近年は創業相談も定期的に寄せられており、創業に関する身近な相談窓口である旨の周知を強化しながら、二ツ井町での創業希望者のニーズに迅速対応できる環境整備を進めていく。

**2 事業概要** ※ ( ) は活動目標値

<p><b>(1) 円滑な事業承継の推進事業</b>                  最新の実態と課題を把握し円滑な事業承継を推進するため3年に1回行っている実態調査を実施し、その情報を基に秋田県事業承継・引継ぎ支援センターと連携して事業承継を支援した。また、能代市の関係事業に協力するなど、行政や金融機関との連携も深めた。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員事業所実態調査の実施</li> <li>・秋田県事業承継・引継ぎ支援センターと帯同訪問の実施</li> <li>・事業承継診断の実施、後継者情報の更新</li> <li>・第三者承継マッチング登録の支援</li> </ul> <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者の平均年齢や後継者不在割合のデータ整備</li> <li>・事業承継計画（簡易版）の作成：2件</li> <li>・後継者データを活用した事業承継の実現：2件（5件）</li> <li>・第三者承継マッチングサイトへの登録：1件</li> </ul>
<p><b>(2) 創業環境整備の推進事業</b>                  空き店舗情報のデータベース化と、商工会報の町内全戸配布などによる創業支援の周知を継続した。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会報の町内全戸配布</li> <li>・創業相談対応・支援</li> <li>・空き店舗情報の収集・提供</li> </ul> <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業相談対応：2件</li> <li>・空き店舗を活用した創業者数：1件（2件）</li> <li>・空き店舗情報の追加：1件</li> </ul>

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(1) 後継者データを活用した事業承継の実現</b> ・商工会基幹システムのデータ活用	1件 (3件)	5件 (3件)	5件 (5件)	2件 (5件)	(5件)
達成状況	未達成	達成	達成	未達成	
<b>(2) 空き店舗を活用した創業者数</b> ・管内の空き店舗を活用した創業の実現	2件 (1件)	0件 (1件)	0件 (2件)	1件 (2件)	(2件)
達成状況	達成	未達成	未達成	未達成	

**4 施策目標に関する検証**

<p><b>(1) 後継者データを活用した事業承継の実現</b></p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑な事業承継の推進事業</li> </ul> <p>会員事業所実態調査を実施して後継者などに関するデータを整備するとともに、事業承継・引継ぎ支援センターと連携して事業承継を支援し過年度分のアフターフォローも行った。また、第三者承継に係るマッチングサイトへの登録支援も行った。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑な事業承継の推進事業</li> </ul> <p>当初の想定より事業承継に係る巡回ができなかった。</p>
<p><b>(2) 空き店舗を活用した創業者数</b></p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業環境整備の推進事業</li> </ul> <p>創生プラン時から、空き店舗情報のデータベース化と商工会報の町内全戸配布による創業支援の周知を継続している。今年度も商店街での創業相談があり、空き店舗情報を活用できた。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業環境整備の推進事業</li> </ul> <p>空き店舗情報のデータベース化が、まだまだ不十分である。また、空き店舗改修費用補助金の対象に旧能代市中心部だけでなく二ツ井町も加えるなどの、行政への創業者支援制度拡充の働きかけができなかった。</p>

**5 次年度への改善点**

<p><b>(1) 円滑な事業承継の推進事業</b>                  実態調査結果をもとに支援ターゲットをさらに絞り、秋田県事業承継・引継ぎ支援センターと計画的に巡回しながら、事業承継の実現を増やしていく。また、行政や金融機関との情報共有・連携も深めていく。</p> <p><b>(2) 創業環境整備の推進事業</b>                  空き店舗情報のデータベース化と、商工会報の町内全戸配布による創業支援の周知は継続していく。また、二ツ井町の空き店舗改修を補助金の対象とするなどの創業者支援制度の拡充を、行政に対して働きかけていく。</p>
--

共通戦略 1	革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進
--------	---------------------

施策 2	販路開拓や事業再構築など事業者の新たな挑戦の支援を強化
------	-----------------------------

1 令和7年度 施策の方向性
<p>事業環境が大きく変化する中で地域の事業者は多くの課題を抱えており、新たな挑戦が重要となっている。そこで、販路開拓や事業再構築など新たな挑戦を展開しやすくするため、事業者の経営発達を支援していく。</p>

**2 事業概要** ※ ( ) は活動目標値

<p><b>(1) 経営発達支援やチーム支援による課題解決の推進事業</b>  「経営発達支援計画」に沿って、経営計画の策定、商談会への出展など、事業者の経営発達を支援した。また、相談・支援を進める中では積極的な提案と課題解決に努め、高度な課題に対してはチーム支援による解決を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営発達支援の実施</li> <li>・専門家と連携したチーム支援の実施</li> </ul> </li> <li>■達成状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会への出展支援：2件 (うち二ツ井町商工会商談会等出展支援助成金の活用：2件)</li> <li>・販路開拓等に係る専門家派遣の活用：2件</li> <li>・経営指導員の相談・支援件数における課題解決・提案の割合：60% (58%)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>(2) 施策情報の発信強化と活用支援事業</b>  各種チラシのタイムリーな発送、商工会 HP の積極的な更新、SNS 発信により施策情報を多角的に提供した。また、販路開拓など事業者の新たな挑戦に対しては、補助金の活用などを支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策情報の提供</li> <li>・各種補助金の活用推進</li> </ul> </li> <li>■達成状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会 HP の更新：29回</li> <li>・販路開拓などの補助金の採択件数：10件 (10件)</li> </ul> </li> </ul>
--

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 経営指導員の相談・支援件数における課題解決、提案の割合 ・課題解決・提案の件数÷相談件数	61% (52%)	54% (54%)	56% (56%)	60% (58%)	(60%)
達成状況	達成	達成	達成	達成	
(2) 販路開拓などの補助金の採択件数 ・商工会が申請支援して採択された件数	7件 (7件)	8件 (7件)	8件 (10件)	10件 (10件)	(10件)
達成状況	達成	達成	未達成	達成	

**4 施策目標に関する検証**

<p><b>(1) 経営指導員の相談・支援件数における課題解決、提案の割合</b></p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  ・経営発達支援やチーム支援による課題解決の推進事業  経営発達支援計画に沿って、商談会への出展支援や専門家派遣の活用など、新たな取組を支援した。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  ・経営発達支援やチーム支援による課題解決の推進事業  経営発達支援計画は3年目であったが、予定した事業内容全てには中々取り組むことができなかった。</p>
<p><b>(2) 販路開拓などの補助金の採択件数</b></p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  ・施策情報の発信強化と活用支援事業  各種施策情報のチラシをタイムリーに発送するとともに、商工会 HP を小まめに更新した。また、商談会出展に当たっては商工会独自の商談会等出展支援助成金を活用させるとともに、物価高騰に対して県の省エネや米加工品に関する補助金の紹介・申請支援を行った。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  ・施策情報の発信強化と活用支援事業  人手不足の中で生産性向上を図ってもらうため、各種補助金の中でも省力化投資補助金の活用支援を考えていたが、情報提供に留まった。</p>

**5 次年度への改善点**

<p><b>(1) 経営発達支援やチーム支援による課題解決の推進事業</b>  経営発達支援計画については、年間スケジュールを改めて整理したうえで、事業計画に沿って事業者の経営発達を支援していく。併せて、高度な経営課題に対しては、引き続きチーム支援による課題解決を推進していく。</p> <p><b>(2) 施策情報の発信強化と活用支援事業</b>  引き続き各種チラシのタイムリーな発送や商工会 HP の積極的な更新により施策情報の提供を行いながら、事業者の販路開拓など新たな挑戦を支援していく。また、SNS による情報発信も積極的に行う。</p>
---

共通戦略2	新たな可能性を切り拓く多様な連携を推進
-------	---------------------

施策3	姉妹商工会など地域外連携による地域活性化の推進
-----	-------------------------

1 令和7年度 施策の方向性	
青森県の横浜町商工会とは、交流により相互理解を深め地域経済を発展させるため姉妹商工会協定を締結している。また、「東京二ツ井会」や「きみまちの里フェスティバル」では物産フェアが設けられている。それら地域外との連携を深めることで、地域活性化を図っていく。	

2 事業概要	
※ ( ) は活動目標値	
<p><b>(1) 横浜町との取引支援事業</b>                  横浜町との取引支援を行っている旨を周知するなど、お互いの強みを活かした地域活性化に繋がった。</p> <p>■活動内容 ・横浜町の事業者との取引支援                  ■達成状況 ・「菜の花フェスティバル」への出店                  ・町内事業者の横浜町での販路拡大：0件（4件）</p>	
<p><b>(2) 「きみまちの里フェスティバル」などを活かした販路拡大の推進事業</b>                  「東京二ツ井会」総会は首都圏の方々、「きみまち二ツ井マラソン・きみまちの里フェスティバル」は町外の方が多く参加する。それぞれ地域外へPRし連携を深める大きなチャンスであり、きみまちの里フェスティバルでは地元業者の出店が少ないため、販路拡大の一環で積極的な出店を促した。</p> <p>■活動内容 ・「東京二ツ井会」総会への出店促進                  ・「きみまちの里フェスティバル」物産フェアへの出店促進                  ■達成状況 ・「東京二ツ井会」総会への出品社数：9件（12件）                  ・「きみまちの里フェスティバル」物産フェアへの出店数：11件（16件）</p>	

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(1) 町内事業者の横浜町での販路拡大</b> ・町内事業者の商品の横浜町での取扱い	1件 (1件)	1件 (2件)	0件 (3件)	0件 (4件)	(5件)
達成状況	達成	未達成	未達成	未達成	
<b>(2) 物産フェアへの出店者数</b> ・「きみまちの里フェスティバル」と「東京二ツ井会総会」の出店者数（二ツ井地区）合計	15件 (22件)	24件 (24件)	20件 (26件)	20件 (28件)	(30件)
達成状況	未達成	達成	未達成	未達成	

4 施策目標に関する検証	
<p><b>(1) 町内事業者の横浜町での販路拡大</b></p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか                  ・横浜町との取り引き支援事業                  「菜の花フェスティバル」に青年部が3年連続出店。横浜町との交流を深め、情報交換を行いつつ二ツ井町のPRも行った。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか                  ・横浜町との取引支援事業                  横浜町との取引支援を行っている旨を広く周知できなかった。</p>	
<p><b>(2) 物産フェアへの出店者数</b></p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか                  ・「きみまちの里フェスティバル」などを活かした販路拡大の推進事業                  「東京二ツ井会」総会に出店し、青年部が地元商品の販売・PRを行った。また、東京二ツ井会では新会長が選任され、商工会との連携に意欲的であり、各種協議を行った。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか                  ・「きみまちの里フェスティバル」などを活かした販路拡大の推進事業                  さらなる出店促進に向けた、具体的なアプローチが不足した。</p>	

5 次年度への改善点	
<p><b>(1) 横浜町との取引支援事業</b>                  横浜町との取引支援を行っている旨を広く周知し県外販路の一つとして紹介するとともに、会員事業者には横浜町の特産品であるホタテなど海産物の取り扱いも促す。</p>	
<p><b>(2) きみまちの里フェスティバルなどを活かした販路拡大の推進事業</b>                  「東京二ツ井会」は首都圏の方々、「きみまちの里フェスティバル」物産フェアは県外から多くのマラソンランナーが参加し、それぞれ地域外と連携を深める大きなチャンスである。特に東京二ツ井会では新会長が意欲的であり、引き続き積極的な出店を促す。</p>	

共通戦略2	新たな可能性を切り拓く多様な連携を推進
-------	---------------------

施策4	行政など地域内連携による賑わい創出の推進
-----	----------------------

1 令和7年度 施策の方向性	
商工会と行政・観光協会・商店会・商業協同組合・道の駅などが連携して、二ツ井地域の賑わい創出を推進していく。また、道の駅直売所の出荷者団体は野菜などを納めて売上を伸ばしており、他地域での好事例の活用も検討しながら、農業者への支援を強化していく。	

**2 事業概要** ※ ( ) は活動目標値

- (1) 恋文商店街の推進事業**  
 「きみ恋軽トラ市」は、商店会との連携などにより魅力アップを図った。また、昨年度の「きみまち阪公園開園100周年」事業の成果を活かし、道の駅から街なかへの回遊性を高められるようにした。
- 活動内容
    - ・「きみ恋軽トラ市」新規出店の支援
    - ・関係機関と連携した街なか誘客事業の実施
  - 達成状況
    - ・「きみ恋軽トラ市」への出店者数：11件（14件）
    - ・県山本地域振興局などと連携した「きみまちスタンプラリー」の実施
- (2) 道の駅直売所の出荷者などとの連携事業**  
 直売所出荷者などの農業者に対し、農商工連携・6次産業化などの支援を行っている旨をPRし、農業者向け支援も継続した。
- 活動内容
    - ・農業者の6次産業化の支援
  - 達成状況
    - ・農業者の6次産業化：2件（4件）
    - ・農商工連携支援：1件
    - ・農業者への経営一般支援：2件

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(1) きみ恋軽トラ市への出店者数</b> ・年3回実施している軽トラ市への平均出店者数	9件 (12件)	9件 (13件)	8件 (14件)	11件 (15件)	(16件)
達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	
<b>(2) 農業者の6次産業化</b> ・農業者の6次産業化の支援件数	2件 (1件)	2件 (2件)	5件 (3件)	2件 (4件)	(5件)
達成状況	達成	達成	達成	未達成	

**4 施策目標に関する検証**

- (1) きみ恋軽トラ市への出店者数**
- 《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
- ・恋文商店街の推進事業  
 軽トラ市は、商店会と連携したガラポン抽選会の実施や商店会店舗自身の出店、保育園児の出し物、青森県横浜町から頂いた菜の花の種の配布など、イベント自体の魅力アップを図った。
- 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
- ・恋文商店街の推進事業  
 軽トラ市は、高温や雨など天候の影響を大きく受けた。
- (2) 農業者の6次産業化**
- 《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
- ・道の駅直売所の出荷者などとの連携事業  
 地元産ラズベリーだけではなく、町外産ほおずきを活用した新商品の開発・販路開拓を支援した。
- 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
- ・道の駅直売所の出荷者などとの連携事業  
 道の駅直売所出荷者など農業者に対する講習会を開催できなかった。

**5 次年度への改善点**

- (1) 恋文商店街の推進事業**  
 街なかへ人を呼び込むため始めた「きみ恋軽トラ市」だが地域の人口減少もあって難しい状況にあり、今年度は出店者と来場者にアンケートを取った。それを踏まえて、次年度の開催内容を改善していく。
- (2) 道の駅直売所の出荷者などとの連携事業**  
 道の駅直売所の出荷者など農業者に対して、6次産業化や経営一般の支援を行っている旨をPRして、道の駅と連携しながら農業者向け講習会を改めて開催していく。

共通戦略3	成果を創出し続ける組織・運営体制の構築
-------	---------------------

施策5	商工会館移転計画などハード・ソフト両面による支援機能の強化
-----	-------------------------------

1 令和7年度 施策の方向性	
<p>築50年を超える商工会館の在り方についてこれまで移転検討委員会で協議した結果、現会館の改修・継続利用を委員会の結論とした。今年度はそれを踏まえて改修工事を進めていく。併せて、職員の資質向上を図るため、人材育成の機会を増やす。ハードとソフトの両面で支援機能を強化することで、会員サービスの向上に繋げていく。</p>	

**2 事業概要** ※ ( ) は活動目標値

<p><b>(1) 商工会館移転計画の作成事業</b>                  移転検討委員会では、現会館と移転先(案)のパークりんりん等について費用などを比較検討した結果、現会館の改修・継続利用という結論に至り、昨年度は改築検討委員会に名称変更して改修範囲、工事の進め方、今後のスケジュールなど協議。今年度はそれに沿って改修工事を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■活動内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会館改修工事に関する会議の開催</li> <li>・商工会館改修工事の実施</li> </ul> </li> <li>■達成状況                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会館移転計画の作成に関する検討：3回(2回)</li> <li>・水回りなど商工会館改修工事の完了</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>(2) 職員の研修機会の拡大事業</b>                  職員の資質向上を図るため、Webセミナーを含めた幅広いテーマの研修会受講を推進した。また、業務のローテーション化と職場内教育(OJT)にも努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■活動内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・Webセミナーの受講及び職員研修会の開催</li> <li>・業務のローテーション化とOJT推進</li> </ul> </li> <li>■達成状況                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修会等の開催・受講：15回(3回)</li> </ul> </li> </ul>

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値(目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(1) 商工会館移転計画の作成に関する検討</b> ・商工会館移転検討委員会の開催回数	2回 (4回)	2回 (4回)	1回 (2回)	3回 (2回)	(-)
達成状況	未達成	未達成	未達成	達成	
<b>(2) 職員研修会の開催</b> ・職員向け各種研修会の開催回数	6回 (3回)	11回 (3回)	14回 (3回)	15回 (3回)	(3回)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

**4 施策目標に関する検証**

<p><b>(1) 商工会館移転計画の作成に関する検討</b></p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか                  ・商工会館移転計画の作成事業                  昨年度、委員会で改修範囲などを決めたため、その後理事会を経て今年度の総会でも工事を承認。工事の進め方など細かい部分は、正副会長・総務委員長会議で3回協議して入札などを進めた。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか                  ・商工会館移転計画の作成事業                  築50年を超える商工会館を改修し継続利用に至ったが、その先に関する維持・管理などの計画も必要だった。</p>
<p><b>(2) 職員研修会の開催</b></p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか                  ・職員の研修機会の拡大事業                  職員の資質向上を図るため業務のローテーション化を進めるとともに、特に今年度は新人職員もいたため職場内教育(OJT)に努めた。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか                  ・職員の研修機会の拡大事業                  会員支援での課題に関する職員研修会を開催できれば良かった。</p>

**5 次年度への改善点**

<p><b>(1) 商工会館移転計画の作成事業</b>                  移転ではなく築50年を超える商工会館の改修と継続利用に至ったので、次は将来に渡っての維持・管理について協議し計画していく。また、さらなる支援機能の強化も検討していく。</p>
<p><b>(2) 職員の研修機会の拡大事業</b>                  引き続き、Webセミナーを含めた幅広いテーマの研修会受講やOJTを推進する。また、中小企業基盤整備機構東北本部の地域支援機関等サポート事業なども活用しながら、会員支援で課題となっているテーマに関する職員勉強会を開催する。</p>

**共通戦略3 成果を創出し続ける組織・運営体制の構築**

**施策6 会員の加入促進による長期的な運営体制の確立**

**1 令和7年度 施策の方向性**

以前は会員数が減少傾向だったが、近年は創業や事業承継の支援に力を入れたことで横ばいに推移している。今後も個社支援機能を維持するため、引き続き会員の加入促進を行って会員数の維持・増加を図り、財政基盤の安定化に繋げることで長期的な運営体制を確立していく。

**2 事業概要** ※ ( ) は活動目標値

**(1) 会員の加入促進事業**

創業と事業承継の支援は効果的であり、引き続き事業承継・引継ぎ支援センターなどと連携しながら支援に力を入れるとともに、商工会活動PRのため商工会報の町内全戸配布を継続した。また、非会員に対しても計画的な加入促進を進めた。

- 活動内容
  - ・創業や事業承継の支援
  - ・商工会報の町内全戸配布
- 達成状況
  - ・商工会報の町内全戸配布：1回
  - ・新規加入の会員数：6件（14件）  
（うち創業者1件、事業承継者1件）

**(2) 中長期財政計画の策定事業**

創業と事業承継の支援などを通じた会員獲得を、会費だけでなく各種手数料の増加に繋げるため、貯蓄共済など共済推進にも力を入れて自己財源比率向上に努めた。

- 活動内容
  - ・貯蓄共済や火災共済を中心としたかぬう
  - ・財政シミュレーションの実施
- 達成状況
  - ・自己財源比率：38%（42%）

**3 施策目標及び達成状況**

施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 新規加入の会員数	12件 (11件)	11件 (12件)	9件 (13件)	6件 (14件)	(15件)
達成状況	達成	未達成	未達成	未達成	
(2) 自己財源比率 ・収入に占める会費と手数料の割合 (会費+手数料) ÷ 経常収入 (受託事業費除く)	37% (39%)	37% (40%)	36% (41%)	38% (42%)	(43%)
達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	

**4 施策目標に関する検証**

**(1) 新規加入の会員数**

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  
 ・会員の加入促進事業  
 創業や事業承継の支援を会員加入に繋げた。また、商工会報の町内全戸配布を継続し、商工会活動を広くPRしている。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  
 ・会員の加入促進事業  
 地区毎の加入促進計画作成までには至らなかった。

**(2) 自己財源比率**

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  
 ・中長期財政計画の策定事業  
 創業や事業承継の新規加入者を、会費の増加だけでなく記帳機械化など手数料確保に繋げている。また、貯蓄共済の新規契約がある程度あり、火災共済は大型契約を獲得した。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  
 ・中長期財政計画の策定事業  
 支出の見直しが計画通り進まなかった。

**5 次年度への改善点**

**(1) 会員の加入促進事業**  
 創業と事業承継の支援は効果的であり、引き続き事業承継・引継ぎ支援センターなどと連携しながら支援に力を入れるとともに、商工会活動PRのため年1回は商工会報の町内全戸配布を継続する。また、非会員名簿をもとにした地区毎の加入促進計画を作成し、役職員が一体となって加入促進を進める。

**(2) 中長期財政計画の策定事業**  
 引き続き創業と事業承継の支援を通じて会員を獲得し会費だけでなく各種手数料の増加に繋げる。共済推進を継続するとともに、MA1の新規候補先が数件あり獲得して自己財源比率を向上させる。また、支出の見直しも進めて、財政基盤を安定化させる。

独自戦略1 「道の駅ふたつ」から街なかへの回遊性向上による交流人口の増加

施策7 「恋文すぽっと きみまち」を活用した「道の駅ふたつ」からの誘客活動

**1 令和7年度 施策の方向性**  
 昨年度は、道の駅が移転6周年で来場者数600万人を達成するとともに、「きみまち阪公園開園100周年」記念事業などで地域が大いに賑わった。今年度はその流れを活かしながら、商店街活性化の拠点恋文すぽっとを活用し、街なかに少しでも多く誘客を図れるようにして地域活性化に繋げる。

**2 事業概要** ※ ( ) は活動目標値

- (1) クーポン券やパンフレットなど誘客ツールの活用事業**  
 恋文すぽっとが観光アプリ「能代きみまち散歩」の登録支援・周知を行い、利用ユーザー数を増やした。また、昨年度の成果を活かして「きみまちスタンプラリー」の実施回数を増やすなどしながら、街なかに少しでも多くの人を呼び込んだ。
- 活動内容
    - ・「能代きみまち散歩」の新規登録支援
    - ・「きみまちスタンプラリー」の実施
    - ・きみまち阪 IC 開通に合わせた誘客事業の実施
  - 達成状況
    - ・新たな誘客ツールの活用店舗数：22件 (30件)
    - ・「能代きみまち散歩」電子クーポン券の作成：3件
    - ・「きみまちスタンプラリー」の実施：2回  
 (「能代きみまち散歩」とレンタサイクルの活用)
    - ・「街なかサービスエリアマップ」の発行：3,000部
- (2) 商店情報の発信の強化事業**  
 令和7年度中に二ツ井今泉道路と小繋 IC (仮称) が開通予定だったため、SNSによる情報発信の際はターゲットである道の駅来場者を意識して商店情報をさらに充実させ、まずは街なか案内所である恋文すぽっとに地域外から来てもらうことで各店舗への回遊につなげた。
- 活動内容
    - ・商店の情報発信の支援
    - ・SNSによる情報発信
  - 達成状況
    - ・商店街 (恋文すぽっと) への来場者数：4,968人 (5,300人)
    - ・X132回、Instagram132回の投稿

施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 新たな誘客ツールの活用店舗数 ・加盟登録店舗 (恋文すぽっとで支援)	8件 (15件)	21件 (20件)	26件 (25件)	22件 (30件)	(35件)
達成状況	未達成	達成	達成	未達成	
(2) 商店街への来場者数 ・指標の一つとして、商店街活性化の拠点「恋文すぽっと きみまち」の来場者数	4,816人 (4,700人)	3,655人 (4,900人)	4,538人 (5,100人)	4,968人 (5,300人)	(5,500人)
達成状況	達成	未達成	未達成	未達成	

**4 施策目標に関する検証**

- (1) 新たな誘客ツールの活用店舗数**
- 《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  
 ・クーポン券やパンフレットなど誘客ツールの活用事業  
 「能代きみまち散歩」の登録支援を継続しつつ、レンタサイクルと組合せた「きみまちスタンプラリー」を春と秋の2回実施した。また、新しい誘客マップは二ツ井今泉道路開通に合わせて発行した。
- 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  
 ・クーポン券やパンフレットなど誘客ツールの活用事業  
 「能代きみまち散歩」の周知を図っているものの、まだまだアプリ自体が認知度不足である。
- (2) 商店街への来場者数**
- 《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  
 ・商店情報の発信の強化事業  
 高い集客力を誇る道の駅の来場者や令和8年3月の二ツ井今泉道路ときみまち阪 IC 開通を意識して、各商店の売出しやお勧め商品・サービスなどの情報をタイムリーに発信した。
- 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  
 ・商店情報の発信の強化事業  
 SNSによる情報発信の際、街なかへ回遊したくなるよう、もっと多くの商店の情報を充実させる必要があった。

**5 次年度への改善点**

- (1) クーポン券やパンフレットなど誘客ツールの活用事業**  
 引き続き「能代きみまち散歩」の周知と登録支援を行うとともに、アプリのPRを強化し利用ユーザーを増やしていく。また、「きみまちスタンプラリー」も、周知や内容を改善しながら継続する。
- (2) 商店情報の発信の強化事業**  
 令和8年3月に二ツ井今泉道路ときみまち阪 IC が開通した。ICは道の駅の目の前に設置されており、情報発信の際はターゲットである高い集客力を誇る道の駅来場者を意識する。より多くの商店のそれぞれの強みを明確にして、新商品・サービスのタイムリーな発信とともに、情報内容を充実させる。

独自戦略1 「道の駅ふたつ」から街なかへの回遊性向上による交流人口の増加

施策8 他団体との連携と地域資源を活かした誘客による地域活性化

1 令和7年度 施策の方向性

道の駅ふたついの年間来場者数は100万人を維持し、今年度は二ツ井今泉道路と小繋IC(仮称)が開通予定である。そこで、開通後も地域に立ち寄ってもらえるよう街なか全体をサービスエリアと捉え、地域資源の活用や他団体との連携により街なかへの誘客を少しでも増やしていく。

2 事業概要 ※ ( ) は活動目標値

(1) 関係団体と連携した道の駅ふたつから街なかへの誘客事業

街なかのお店を知ってもらうきっかけの一つとして、地域資源を活かした商品開発と道の駅への出品の支援を継続するとともに、関係団体と連携した誘客事業によりそれら新商品やお店のPRを強化して、街なかへの誘客に繋げた。

- 活動内容
  - ・道の駅ふたつへの新規出品支援
  - ・道の駅ふたついや県山本地域振興局などとの連携事業実施
- 達成状況
  - ・道の駅ふたつへの新規出品支援：2件(2件)
  - ・「きみまちスタンプラリー」の実施：2回

(2) 地域外から二ツ井町への誘客環境の整備

今年度、二ツ井今泉道路と小繋IC(仮称)が開通予定であり、これまでの誘客環境整備の取組みを踏まえながら、道の駅のレンタサイクルや観光アプリ「能代きみまち散歩」の周知・活用を強化するなどして、町外の方に町の魅力を体験してもらった。

- 活動内容
  - ・道の駅ふたつとの連携事業の実施
  - ・二ツ井今泉道路・小繋IC(仮称)開通に合わせた街なか誘客事業
- 達成状況
  - ・道の駅ふたつとの連携事業：2件(2件)
  - ・レンタサイクル事業の実施：96名利用
  - ・「きみまちスタンプラリー」の実施：2回  
期間中の「能代きみまち散歩」ユーザー増加数54名
  - ・「街なかサービスエリアマップ」の発行：3,000部

3 施策目標及び達成状況

施策目標	実績値(目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
-(1) 道の駅ふたつへの出品者数 ・自社商品出品の会員事業者数	10件 (7件)	10件 (9件)	(11件)	(13件)	(15件)
(1) 道の駅ふたつへの新規出品数 ・自社商品出品の会員事業者数			2件 (1件)	2件 (2件)	(2件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	
-(2) 道の駅ふたついの来場者数 ・一年間の来場者数	103万人 (100万人)	(100万人)	(110万人)	(120万人)	(130万人)
(2) 道の駅ふたつとの連携事業 ・道の駅と連携した誘客環境の整備	-	1件 (1件)	2件 (1件)	2件 (2件)	(2件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証

(1) 道の駅ふたつへの新規出品数

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  
 ・関係団体と連携した道の駅ふたつから街なかへの誘客事業  
 新商品開発・販路拡大を支援したことで、新商品が新規出品となった。また、県山本地域振興局などと連携して春と秋にスタンプラリーを実施し、観光アプリ「能代きみまち散歩」の活用を促せた。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  
 ・関係団体と連携した道の駅ふたつから街なかへの誘客事業  
 新商品開発・販路拡大を支援している旨の周知が足りなかった。

(2) 道の駅ふたつとの連携事業

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか  
 ・地域外から二ツ井町への誘客環境の整備  
 令和8年3月の二ツ井今泉道路ときみまち阪IC開通に合わせて、新たな誘客マップ「街なかサービスエリアマップ」を発行し、道の駅などに配置した。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか  
 ・地域外から二ツ井町への誘客環境の整備  
 レンタサイクル、「きみまちスタンプラリー」とともに、休日の天候不順や夏場の高温、さらにクマの大量出没があり、思うように利用者数を伸ばすことができなかった。

5 次年度への改善点

(1) 関係団体と連携した道の駅ふたつから街なかへの誘客事業

引き続き道の駅への出品支援を継続するとともに、関係団体と連携した誘客事業については周知の強化を図り取り組み効果を高める。

(2) 地域外から二ツ井町への誘客環境の整備

令和8年3月に二ツ井今泉道路ときみまち阪ICが開通した。外的要因への対策を検討しながら、街なか誘客ツールである「能代きみまち散歩」やレンタサイクルの周知を強化し、道の駅に設置の「街なかサービスエリアマップ」も活用してもらいながら街なかへの誘客を図る。